

人にも地球にもやさしいあきたをめざして



エコアちゃんと
考えよう、
環境のこと

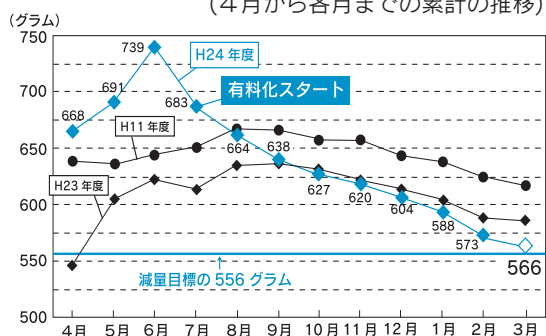
●問い合わせ 環境都市推進課 ☎(866)2943

最終結果

24年度の目標にあと10グラム届かず…

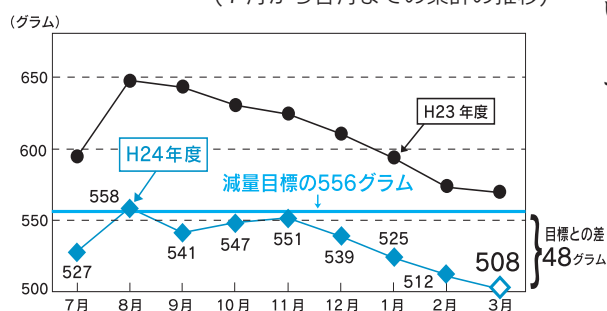
有料化後は目標を48グラム下回りました

グラフ① 一人1日当たり家庭系ごみ排出量累計
(4月から各月までの累計の推移)



市民一人1日当たりの家庭系ごみ排出量の平成24年度末累計が出ました。結果は566gで、18年度に設定した減量目標の556gにあと10gの差でした(グラフ①)。この重さは、わずかな新聞紙1枚(1面分)。昨年のごみ有料化以降、市民のみなさんの頑張りで見えて排出量が減り、ほとんどの月で目標を下回っています。有料化後の7月以降に限った排出量累計は3月末現在508gで、昨年と比べて大きく減り、ごみ有料化の効果がはっきり分かります(グラフ②)。

グラフ② 有料化後の一人1日当たり排出量累計
(7月から各月までの累計の推移)



24年度末の累計が目標に届かなかった原因は、昨年4月の爆弾低気圧による暴風被害の影響や、有料化前のごみの駆け込み廃棄のためと考えられます。引き続き市民のみなさんにごみ減量の取り組みを続けていただければ、25年度中には減量目標の556gを大きく下回っていくと予想しています。

ごみ減量は私たちが常に意識すべき課題です。市では今後もさまざまな形でごみ減量の取り組みを進めます。「人にも地球にもやさしいあきた」の実現のために、引き続き市民のみなさんのご協力をお願いします。

引越して出たごみも

秋田市ルールで分別してネ

転出や進学などにともない、一度にたくさん出るごみも「秋田市ルール」でしっかり分別をお願いします。環境都市推進課 ☎(866)2943

資源を集団回収する団体を募集

空きびん、空き缶、古紙など、リサイクルできる資源を回収する団体(子ども会、婦人会、老人クラブ、町内会など)を募集しています。詳しくは環境都市推進課へお問い合わせください。

☎(866)2943

年2回以上の実施で
奨励金を交付します

回数割 ▶ 450円(上限あり)
数量割 ▶ 1kgあたり1.5円
～6円(品目による)

一時多量ごみ
引越し、大掃除などで一時的に多量に出るごみは、自分で総合環境センターへ搬入(要連絡 ☎(839)4816)するか、市の許可を受けた回収業者にご依頼ください。いずれも有料。回収業者の連絡先は環境都市推進課 ☎(863)6631へお問い合わせを。

粗大ごみ
原則、一辺が50cmを超えるもの。戸別収集のため事前に大きさを測り、次の連絡先へ(平日午前9時～午後4時)。
専用電話 ☎(839)2002

資源化物
・空きびん、ガス・スプレー缶は袋に入れず、ごみ集積所にある空きびん回収箱へ入れてください
・古紙は「新聞・ちらし」ダンボール「紙パック」雑誌・雑がみに分類して、紙ひもで束ねてください

家庭ごみ
生ごみ、ビニール、陶磁器、ガラス、冬囲いの竹や角材などの廃材は家庭ごみ用有料指定袋(黄色)に入れてください。

*詳しい分別は、手引き(左図)をご覧ください。配布場所は環境都市推進課へお問い合わせください。ホームページでもご覧いただけます。



ごみの冊子 秋田市 [検索](#)

岩手県野田村からの災害廃棄物の処理状況

測定結果は、すべて問題のないレベルでした

市の総合環境センターで受け入れている、岩手県野田村の災害廃棄物に関する放射性物質の測定結果です。データの詳細は、市ホームページをご覧ください。

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ev/cp/saigaihaikibutu.htm>

問い合わせ 災害廃棄物の受け入れなどは環境都市推進課 ☎(863)6632
 災害廃棄物の処理などは総合環境センター ☎(839)4816

調査対象 搬入期間▶3月1日～19日 搬入量▶計373.36ト

測定結果(表下の▶は安全の基準・目安)

(1)岩手県野田村での測定

放射能濃度

測定項目	測定値(ベクレル/kg)	測定頻度(採取日)
災害廃棄物	不検出	月1回(3月7日)

▶秋田県ガイドラインにより100ベクレル/kgを超えないこと

遮へい線量率

測定項目	測定値(マイクロシーベルト/時)	測定頻度
災害廃棄物	0.001～0.003	搬出日ごとに1回

▶秋田県ガイドラインにより0.01マイクロシーベルト/時を超えないこと

空間放射線量率

測定項目	測定値(マイクロシーベルト/時)	測定頻度
運搬車両(搬出時)	0.05～0.07	車両ごとに1回

▶秋田県の通常時の空間放射線量率は、0.03～0.09マイクロシーベルト/時



(2)総合環境センターでの測定

空間放射線量率

測定項目	測定値(マイクロシーベルト/時)	測定頻度
敷地境界4か所	0.02～0.05	週1回
周辺地域12か所	0.04～0.06	月2回
運搬車両(搬入時)	0.04～0.06	1日1台以上

▶秋田県の通常時の空間放射線量率は0.03～0.09マイクロシーベルト/時

放射能濃度(簡易測定※)

測定項目	測定値(ベクレル/kg)	測定頻度
飛灰(埋立灰)	不検出～44	1日1回 (日曜日を除く)
スラグ、メタル	不検出	

※測定結果の安全を即日把握するための検査(検出下限25ベクレル/kg)。

▶飛灰の埋立基準は8,000ベクレル/kg以下

▶スラグ、メタルは100ベクレル/kg以下

放射能濃度(精密測定)

測定項目	測定値(ベクレル/kg・ℓ)	測定頻度(採取日)
飛灰(埋立灰)	38	月1回(3月6日)
スラグ、メタル、 末端放流水、 周縁地下水、 岩見川底質・河川水 …上流・放流口(底質)・下流	不検出	

▶放流水、周縁地下水の安全の目安(濃度:ベクレル/ℓ)は、セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90<1

測定項目	測定値(ベクレル/m ³ (N))	測定頻度(採取日)
排ガス(1、2号炉)	不検出	月1回(3月6日)



メガソーラー発電所 建設工事の安全を祈願

3月27日、再生可能エネルギーの導入を図るため総合環境センター(河辺豊成敷地内に建設する、メガソーラー(太陽光)発電所の安全祈願祭を行いました。発電所は10月運転開始予定。広さは3.5畝で、年間平均182万kWhを発電し、電力会社に売却することで売電額は7千万円以上を見込んでいます。

環境総務課 ☎(863)6862

年間では申請できません。なお、5月1日(水)から①のかたに差し上げる袋は45リットル50枚に変更になります。環境都市推進課 ☎(866)2943

家庭ごみ用の袋を 差し上げます

- ①在宅で腹膜透析をしている、
- ②資源化物用指定ごみ袋で
おむつを出すことに抵抗がある
というかたに

5月から枚数や申請方法などを変更

家庭ごみ有料化の負担軽減のため、右記の①または②のかたに家庭ごみ用の指定袋30リットル30枚を差し上げますので、下記の窓口でお申し込みください。ただし、前回袋を受け取ってから1

必要書類

腹膜透析を証明する書類(診療明細書や透析パック購入の領収書など) おむつ購入時の領収書・レシート、または家族介護用品支給申請書(介護保険課で発行)

申込方法(申し込みは年1回)

北部・西部・河辺・雄和の各市民サービスセンター、太平・外旭川・上新城・御野場・下北手・金足の各地域センター、環境都市推進課の各窓口で、申請書(ホームページからも入手可能)に必要書類を添えてお申し込みください(平日のみ)。内容を確認の上、後日職員が申請書の住所へごみ袋をお届けします

*環境都市推進課で申し込んだ場合、その場で袋をお渡しします(印鑑が必要です)。5月からは運転免許証や健康保険証など、申請者本人であると確認できる書類(原本も必要です)。